

4年間の学び

	1年次	2年次	3年次	4年次
一般総合科目	<p>社会人としての教養を身につける</p> <p>人文系科目群(歴史学・美術など)、社会系科目群(法学・経済学・地理学・情報処理など)、自然系科目群(地学・生物学など)、外国語科目群など</p>			
文学部共通基礎科目	<p>日本語力・情報力を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本語コミュニケーションA・B・C</li> <li>●情報コミュニケーションA・B・C</li> </ul>	<p>表現力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プレゼンテーション概論</li> <li>●プレゼンテーション演習</li> </ul>		
文化財入門科目	<p>基礎的な知識と観察力を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●研究入門I・II</li> <li>●日本史概論</li> <li>●考古学概論</li> <li>●文化財基礎実習I・II</li> <li>●建築文化概論</li> <li>●環境歴史学概論</li> </ul>	<p>文化財実習II(考古学)</p>  <p>古墳などを現地で詳しく観察して特徴を明らかにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然地理学</li> <li>●歴史地理学</li> <li>●考古資料の分析B</li> <li>●史料購読A・B</li> <li>●日本美術史</li> <li>●文化財実習II(史料学) PICK UP 03</li> </ul>	<p>文化財実習I(史料学)</p>  <p>襖の裏貼に使われた古文書を修復していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財実習II(地理学)</li> <li>●文化財実習II(建築史学)</li> <li>●文化財実習II(考古学)</li> <li>●資料観察法(考古学) PICK UP 02</li> </ul>	<p>文化財演習II(建築史学)</p> 
文化財専門科目	<p>研究入門I・II</p>  <p>幅広い分野から歴史や文化への関心を深めます。</p> <p>文化財基礎実習I・II</p>  <p>現地実習などを通して観察する力を養います。</p> <p>調査・分析ができる専門性を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域史研究A</li> </ul>	<p>文化財実習II(史料学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●考古資料の分析A</li> <li>●古文書研究</li> <li>●建築遺産論</li> <li>●日本建築史I</li> <li>●東洋美術史</li> <li>●文化財実習I(史料学)</li> <li>●文化財実習I(地理学) PICK UP 01</li> <li>●文化財実習I(建築史学)</li> <li>●文化財実習I(考古学)</li> </ul> <p>資料観察法(史料学)</p>  <p>史料学では現地学習などを実施し、実物史料のもつ豊かな情報を探ります。</p>	<p>文化財実習II(史料学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財実習II(地理学)</li> <li>●文化財実習II(建築史学)</li> <li>●文化財実習II(考古学)</li> <li>●資料観察法(考古学) PICK UP 02</li> </ul> <p>文化財実習I(史料学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財実習I(地理学)</li> <li>●文化財実習I(建築史学) PICK UP 04</li> <li>●文化財実習I(考古学)</li> </ul>	<p>文化財演習I(地理学)</p>  <p>ドローンを用いて、地域の空中写真撮影とそれを用いた測量をおこなうために、安全・安心な操縦技術の修得をめざして、訓練を重ねています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財演習II(史料学)</li> <li>●文化財演習II(地理学)</li> <li>●文化財演習II(建築史学)</li> <li>●文化財演習II(考古学)</li> <li>●卒業研究</li> </ul> <p>卒業研究</p>  <p>調査・分析・論文執筆・発表の実践です。</p>
資格関係科目	<p>学芸員・司書・教職資格をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習概論</li> <li>●博物館概論</li> <li>●博物館資料論</li> <li>●博物館資料保存論</li> <li>●博物館実習</li> <li>●図書館概論</li> <li>●文化財学概論A</li> <li>●歴史資産保護論A</li> <li>●文化財学概論B</li> <li>●歴史資産保護論B</li> <li>●情報サービス論</li> <li>●教育概論</li> <li>●教育心理学</li> <li>●教科教育法</li> <li>●教育実習など</li> </ul>			

**就職・進学**

めざせる未来・活躍できる仕事

**公務員**

- 地方公務員(行政職、警察官ほか)
- 国家公務員(自衛官、ハローワークほか)
- 博物館、埋蔵文化財センター(学芸員)

**学校・教育**

- 学校教員(中学・高校)
- その他教育関係

**保険・郵政**

- 保険事務
- 日本郵政・JA(全農)

**サービス(観光・医療・福祉)**

- 医療事務
- 福祉スタッフ
- 介護スタッフ
- ホテルスタッフ

**流通・販売**

- 総合職
- 一般事務
- 営業職

**不動産・建設**

- 総合職
- 一般事務
- 営業職
- 不動産管理・仲介

**メーカー(医療機器、機械、食品など)**

- 総合職
- 一般事務
- 営業職


**情報・通信・印刷**

- 総合職
- 一般事務

**進学**

- 大学院

進学・就職最新情報



**未来のチカラ**

**OB・OG Voice**

平泉町教育委員会  
平泉文化遺産センター  
鈴木 博之 さん  
文化財学科  
2005年度卒業

素晴らしい先生方のもとで最先端の学びを得られます

文化財を地域の魅力として発信し、地域の人たちとともにこれらを後世に伝えていきたい。この仕事を選択しました。文化財学科では考古学、文献史学、環境歴史学、建築史学など、最先端の内容を幅広く学ぶことができます。文化財の調査をするにあたって史料や地形、建築物を見る目を養う必要もあり、大学で学んだ知識がとても役立っています。資格を取得する際も手厚いサポートをしていただきました。先生や先輩、同期などとも話しやすい恵まれた環境の中で、学びの中で見つけた目標をかなえてください。

01 文化財実習I(地理学)



地理学では資料収集や調査マップの作成、現地に出かけての調査・記録をとる実践力を鍛え、GIS(地理情報システム)で旧版地形図と重ねあわせて電子地図にまとめます。

02 資料観察法(考古学)



現地に出かけて、じかに遺跡に接して観察することが大切です。そこで専門家の説明を受けることもあります。

03 文化財実習II(史料学)



(史料学)

旧庄屋には多くの古文書が残されています。それらの古文書を丹念に読み込むことにより、史料の読解力を身につけ、旧家の歴史を明らかにすることができます。このようにして培った知識をもとに、卒業研究をめざします。

04 文化財演習I(建築史学)



民家、町並み、社寺、城郭などの歴史と文化に触れながら、現地で調査・分析の方法を身につけます。また、これらの建築を残してまちづくりなどにかかっている各地の取り組みから、保存と活用の方策を学びます。